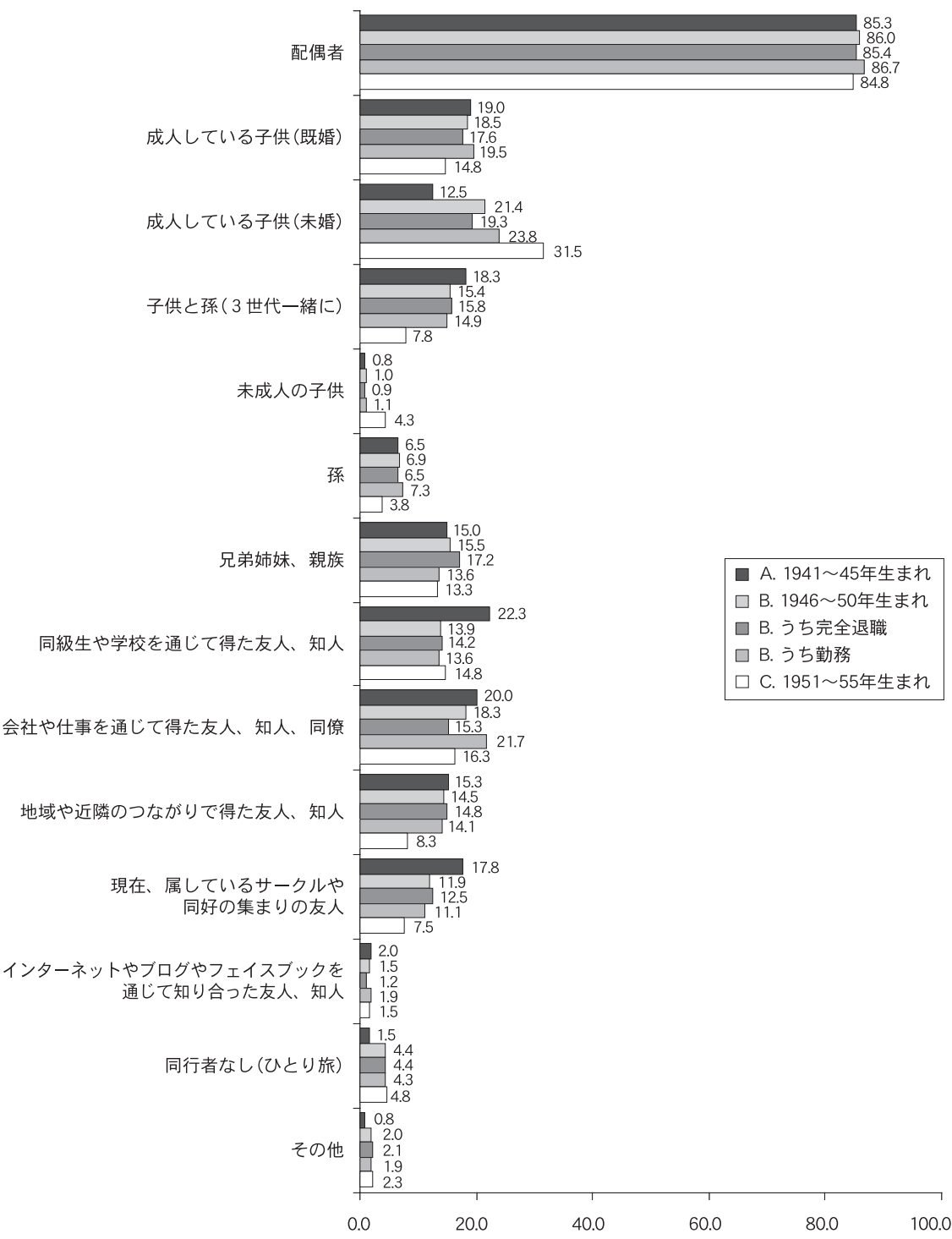
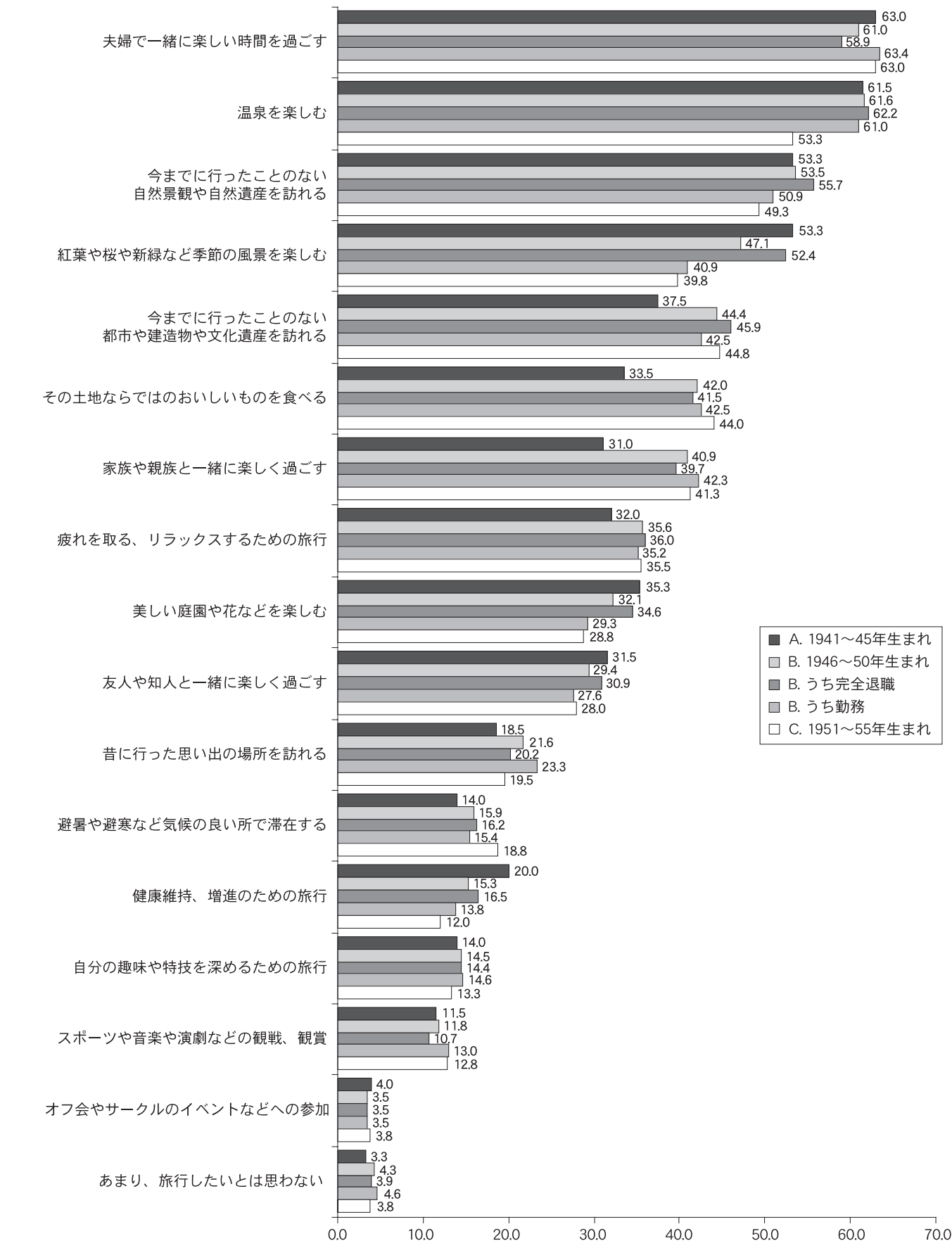


周遊型パックの利用、年代が高いほど多く

旅行の同行者（複数回答）



旅行の目的（複数回答）



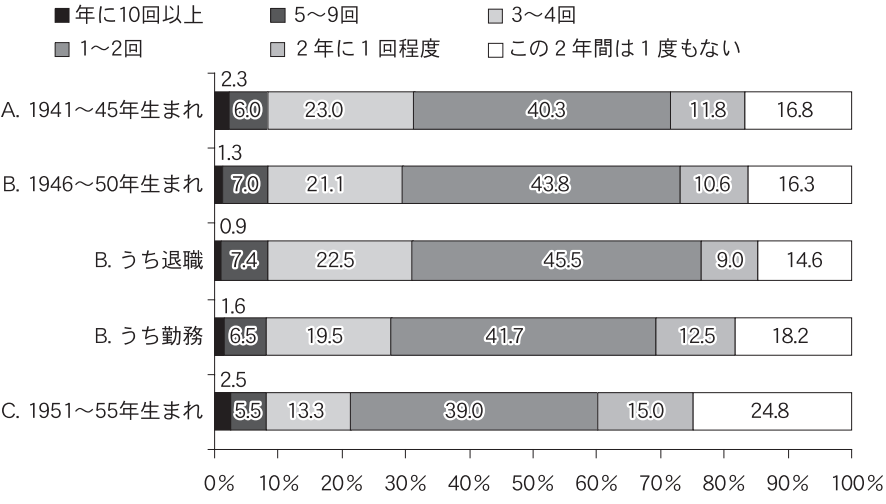
＜調査方法＞
実施期間：2012年2月21～24日
対 象：首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）、愛知県、京阪神（京都、大阪、兵庫）在住の男女で配偶者を持ち、夫の現在の職業が自由業、自営業、農林水産業である人を除く
A世代 1941～45年生まれ 男性200人 女性200人 計400人
B世代 1946～50年生まれ 男性400人 女性400人 計800人
（うち完全退職者 男性173人 女性258人 計431人）
（うち勤務者 男性227人 女性142人 計369人）
C世代 1951～55年生まれ 男性200人 女性200人 計400人

シニア世代の旅行意識

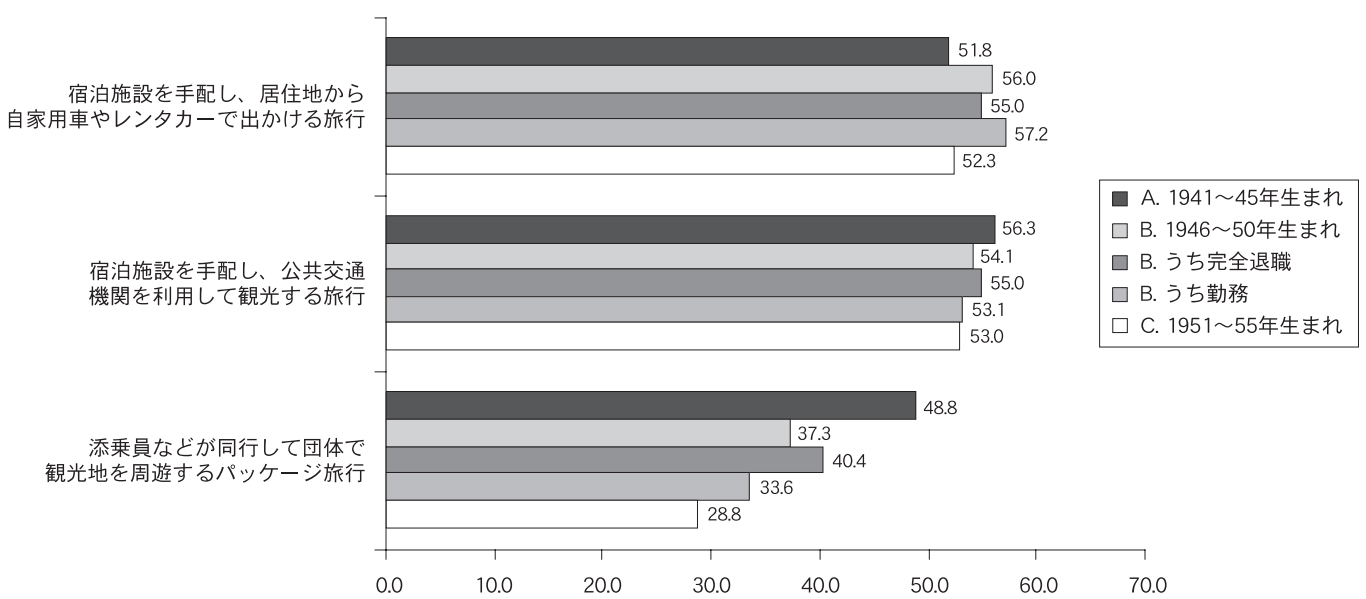
旅行の目的を聞いたところ、全世代で6割以上が夫婦で一緒に楽しい時間を過ごすことがうかがえる。B世代完全退職者が最も多く、C世代が最も少ない。旅行の同行者として、どの世代も配偶者が最も多く、ほぼ85%が配偶者を選んでる（複数回答）。A世代では「同級生や学校を通じて得た友人、知人」や「現在属して

国内宿泊旅行の回数 年3回以上の国内旅行経験者はA世代が31.3%、B世代が29.4%とそれぞれ約3割。C世代は2割程度と少ない。B世代勤務者もB世代完全退職者に比べると少なく、仕事による時間の制約が回数に影響していることがうかがえる。B世代完全退職者が最も多く、C世代が最も少ない。旅行の同行者として、どの世代も配偶者が最も多く、ほぼ85%が配偶者を選んでる（複数回答）。A世代では「同級生や学校を通じて得た友人、知人」や「現在属して

この2年間の国内宿泊旅行の回数



旅行の形態（国内宿泊旅行）



旅行のスタイル（複数回答）

